

令和2年度上大久保中学校だより

上中だより

第9号

令和2年12月1日(火)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j.saitama-city.ed.jp>

「掃除と清掃」

校長 堀田 明良

北風を受ける本校の校長室はこの時期から大変冷え込みます。校長室を出て日差しの当たる教室や職員室の南側に立ち、背中に日差しを浴びるととても快適です。ただし、今年はCOVID-19対策のため廊下や教室の窓が開いているので、昨年ほどの温かさではありません。

まだ日差しの温かさを感じられない朝の時間帯に上大久保中は「清掃」の時間を迎えます。担任の先生とにこやかに話しながら机を運んでいる姿、教室や廊下の床をぞうきんがけする姿、水道の流しで冷たい水でぞうきんをきれいにすすぐ姿などが見られます。先生方の様子を見ると、生徒と同じように廊下や教室をほうきで掃いたり、ぞうきんがけをしたりする先生や、階段や廊下を行ったり来たりして清掃監督をする先生、授業が詰まっていて空き時間のない先生は清掃監督をしながら朝回収した提出物のチェックをしています。

アメリカや、ヨーロッパの学校では生徒はそうじをしないそうですが、日本をはじめ東アジアの学校では生徒がそうじをする国が多いようです。その理由として、東アジアでは古来学問を学ぶ場であった、お寺の影響があると考えられています。江戸時代に庶民の子どもが「読み・書き・そろばん」を習ったところは「寺子屋」であると、皆さんも歴史で学んだと思います。

修学旅行などで神社仏閣を訪れると、そこはきれいに掃除がされています。仏教の開祖であるシャカの教えに「掃除をすると5つよいことがある。」というものがあるそうです。それは、「掃除をすると 1 自分の心が清められる。 2 他人の心が清められる。 3 周囲の環境が生き生きする。 4 人の心も物事も整う。 5 天に生まれ変わる。」だそうです。または「1 自分の心の垢(あか)が取り除かれる。 2 他人の心の垢も取り除かれる。 3 思い上がり、おごり高ぶりを取り除く。 4 自分の悪い心を抑え、制することができる。 5 善い行いが広まる。」とも教えられているそうです。また、昭和の有名漫画家である赤塚不二夫の代表作「天才バカボン」に登場する、いつもほうきをもって掃除をしているキャラクターは、シャカの弟子のひとりモデルにしているとも言われています。その弟子は20年間掃除をやり続けたことで、悟りを開いたそうです。

学校の日課表を見ると、掃除の時間は「清掃」と表しています。見ての通り、「掃除」は「掃く、除く」と書きますが、「清掃」は「清め、掃く」という漢字を用います。生徒の皆さん、これからも「清掃」に取り組み、「清々しい」気持ちで学校生活を送りたいですね。また、12月は1年間の汚れを落とし、「清々しい」気持ちで新たな年を迎えたいですね。